

業組合などの地元関係者で構成する検討委員会によって検討を進めたいと考えている」との答弁があった。

これを受け「検討委員会には市としての意見は反映できるのか」との質疑に対して、「委員の選定は現在検討中であるが、JA、漁業組合、区長等地元の方を主体に、意見が出やすいような検討委員会にもつていきたいと考えている」との答弁があった。

### ○国道3号線交差点改良測量設計業務委託料について

「今回計上されている場所はどこか」との質疑に対し、「3号線の4車線化に伴う、あつまりるカントリークラブ入り口からパルシェ横までの河川沿いの



市道のうち、3号線側からの約500メートル及び市民病院の入り口交差点から市民病院までの約150メートルである。なお、この交差点改良については、国が5千万円の予算をつけているので、今回の市道改良も並行して施工することになる」との答弁があった。

## 民生常任委員会

### ●平成20年度宇城市一般会計補正予算(第1号)について

#### ○はり・きゆう管理システム導入業務委託料について

はり・きゆう管理システム導入業務委託料について説明を求めたところ、「後期高齢者医療広域連合では、はり・きゆう券は給付しないが、国保の被保険者には給付していた。後期高齢者に給付しないのは、サービスの低下につながるため、2月の当初予算に計上した。それを電算処理する分が漏れていたため今回計上したものである」との説

### ●平成20年度宇城市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

#### ○特定健康診査等業務委託料について

「特定健康診査等業務委託料1572万7千円の内容は何か」との質疑に対し、「当初1件当たり健診料を6000円と見込んでいたが、8000円近くかかるのでその差額である」との答弁であった。また「特定健診は周知不足だと思うがどうか」との質疑に対し、「確かに、4月1日からの法改正により、PR不足は否めない。今後周知徹底を図っていく」との答弁であった。さらに「特定健診には特に力を入れ、部、課を越えて連携し協力をして欲しい」との意見があった。これに対し、「お互い情報交換をしながら、いいアイデアがあれば検討していきたい」との答弁であった。

明があった。さらに「熊本市内でも使えるようにすべきと思うが、この券の取扱機はどのようなものか」という質疑に対して、「現在熊本市内の一部は使用できる。取扱機からの申し出があれば使用できる」との答弁であった。



#### ○生ごみ処理容器等購入補助金について

「清掃総務費の生ごみ処理容器等購入補助金及び生ごみ処理容器等とはどんなものか」との質疑に対し、「この補助金は、当初予算では、消耗品で計上していた。今回予算の組替えを行った。生ごみ処理容器等とは、水

## 文教常任委員会

### ●平成20年度宇城市一般会計補正予算(第1号)について

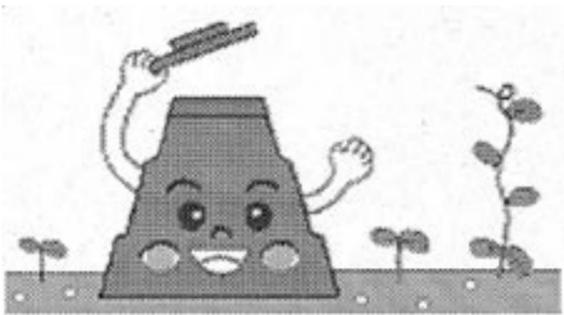
#### ○意識調査分析等業務委託料について

「人権教育費の委託料に計上している意識調査分析等業務委託料は、どのような形で取り組むのか」との質疑に対し、「宇城市内全世帯において、市民へのアンケート調査を行い、その調査の結果を分析し、今後の宇城市の人権教育の方向性等を見いだしていく計画であり、10月ぐらに実施する予定である」との答弁があった。

#### ○地域ぐるみの学校安全体制整備推進モデル地域事業補助金

教育振興費において、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進モデル地域事業補助金が100万円計上されており、目的は、松橋小学校、当尾小学校、松橋中学校における登下校時の安全を図るということであるが、その

切りバケツとコンポストである」との答弁であった。さらに「この補助金は100万円だが、足りるのか。もし、足らなかつたらどうするのか」という質疑に対して、「平成19年度の実績は、容器78個、バケツ140個であった。今年度は容器200個、バケツ400個分とかなり多く計上している。もし、不足した場合は補正をお願いする」との答弁であった。また「電気生ごみ処理機の補助金はないのか」との質疑に対し、「平成19年



家庭ごみ処理容器コンポスト

事業内容、事業主体は何か」との質疑に対し、「三つの各学校の代表、安全指導員、あるいは主任指導員といった総勢18人程度で構成する推進委員会を設け、そこに補助金を交付するという形で考えている。事業の内容は、具体的に委員会でつめていくが、まず学校安全ボランティア養成講習会の開催、防犯グッズの整備から取り組んでいく」との答弁があった。

